

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

【網掛け】重点施策

【平成26年度末達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

4-1(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度末達成状況	平成26年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)					平成27年度以降の方向性	所管課			
							実績評価		既存統計データ		年度			進捗状況	予算額	決算額
1	ワークライフバランスの推進・啓発	拡充	セミナー一年2回就業規則等で育児休業制度を規定している割合70%	B	一般事業主連絡会において仕事と家庭の両立を推進するためのセミナーを行った。テーマは「多様な人材を活かす職場環境づくり」	b	参加事業主が少ないため、内容・周知方法等を工夫する必要がある。	H22 次世代育成支援セミナーと労働法セミナーを開催参加者57名	H22 A 52 51	引き続き労使双方を対象に実施していく。	雇用支援課					
					H23 A 52 50											
					H24 A 50 0											
					H25 B 50 0											
A	・H27年2月に企業啓発研修会として「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」演題「多様な人材を活かす職場環境づくり」を雇用支援課及びこども政策課と共催し、事業主や人事労務担当者に対し、ワークライフバランスに関するセミナーを行うことができた。	a	誰もが働きやすい職場づくりを進めるための意識啓発を行うとともに、男女平等社会を支える新たな社会システムを構築していくために、企業と連携して取り組みができた。	H22 次世代育成支援セミナーと労働法セミナーを開催参加者57名	H22 A 30 30	労使双方へあらゆる機会を通じて啓発活動に努める。	男女共同参画課									
	・H27年2月に男女共同参画職員研修として「DVについて理解を深める～DVの二次被害防止について～」を職員課と共催し、職員に対して男女共同参画意識を高めるための講演会を行った。		H23 A 15 27													
	H24 A 15 15															
	H25 A 15 17															
B	・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについてのセミナーを実施した。	b	ワークライフバランスに関するリーフレットと併せて事業主向けセミナーの案内を市内の事業所に幅広く配布したが、参加者数が少ない状況が続いた。	H22 セミナー1回参加者数26名	H22 B 10 -	セミナーやHP等を通じてワーク・ライフ・バランスを推進・啓発していく。セミナーについては、事業主や企業の人事労務担当者に限らず、興味を持つ一般の方も参加できるようにして、職場環境づくりや取得できる休暇等について幅広く周知していく。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)									
	「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」開催日 平成27年2月19日参加者 事業主・人事労務担当者等 26名(男10名 女16名)		H23 B 10 -													
	H24 B 10 11															
	H25 B 10 1															
B	特定事業主行動計画について、課長級に昇任した職員を対象に説明会を実施し、職員の仕事と子育ての両立支援に関する意識啓発を行った。	b	課長級に昇任した方全てに説明会を実施しているが、目標事業量(年2回)を下回っているため。	H22 研修1回(8/3)参加人数37人	H22 B - -	職員の仕事と子育ての両立支援について、引き続き管理監督者への意識啓発を図るとともに、全職員に対しても周知し、理解を図っていく。	職員課									
	H23 研修1回(8/2)参加人数18人		H23 B - -													
	H24 研修1回(7/18)参加人数17人		H24 B - -													
	H25 研修1回(7/31)参加人数24人		H25 B - -													
		計		0 0												

2	ハローワーク求人情報の提供	継続	提供箇所数 15箇所	A	ハローワーク川越求人情報を本庁、市民センター、南連絡所、サンライフ川越で配布し、市ホームページに掲載し、毎週更新して提供した。	a	求人情報を市内施設にて配布し、ホームページに掲載することで、求職者に資する情報の提供が行えた。	H22:15箇所にて配布 H23:15箇所にて配布 H24:15箇所にて配布 H25:15箇所にて配布 H26:15か所にて配布	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	引き続き最新の求人情報を提供していく。	雇用支援課
3	求職相談	継続	相談件数 年200件	A	ハローワーク川越の職業相談・職業紹介およびしごと相談員によるしごと相談、県キャリアセンターランチ等事業のキャリアカウンセリング・心理カウンセリングを実施し、広く相談に応じられる体制とした。	a	ハローワーク川越の職業相談・職業紹介およびしごと相談員によるしごと相談、県キャリアセンターランチ等事業のキャリアカウンセリング・心理カウンセリングを実施し、広く相談に応じられた。	H22 ・しごと相談 80件 ・団塊世代第2ステージ相談 9件 ・キャリア・心理カウンセリング 176件 H23 ・しごと相談 115件 ・団塊世代第2ステージ相談 6件 ・キャリア・心理カウンセリング 216件 H24 ・川越しごと支援センター利用者 延4,345人 ・しごと相談 254件 ・キャリア・心理カウンセリング 209件 H25 ・川越しごと支援センター利用者 延9,318人 ・しごと相談 760件 ・キャリア・心理カウンセリング 450件 H26 ・川越しごと支援センター利用者延8,836人 ・しごと相談 640件 ・キャリア・心理カウンセリング 432件	H22 A 2,140 2,130 H23 A 2,256 2,276 H24 A 2,738 2,008 H25 A 4,080 4,040 H26 A 4,096 3,936 計 15,310 14,390	しごと支援センターの周知を図るとともに、より多くの相談に応じられるようにする。	雇用支援課
4	就労支援事業	継続	講座開催 年12回	A	川越しごと支援センターにおいて、就職活動に役立つ基本的な知識や応募書類・面接などの実践や、就労に必要なスキルを身につけるセミナーを開催した。 ・再就職支援セミナーI、II ・中年世代セミナー ・女性の再就職セミナー ・就職力強化セミナー ・パソコンスキル強化セミナー ・介護のしごと入門講座 ・キャリアセンターランチセミナー ・女性キャリアセンター出前セミナー ・保護者のための「わが子」の自立支援セミナー	a	就職活動に役立つ基本的な知識や応募書類・面接実践及び就労に必要なスキルを身につけることができた。	・H22 6事業28回 延べ受講者245人 ・H23 8事業29回 延べ受講者367人 ・H24 9事業38回 延べ受講者669人 ・H25 9事業45回 延べ受講者1054人 ・H26 12事業66回 延べ受講者1530人	H22 A 936 715 H23 A 950 764 H24 A 1,711 1,503 H25 A 2,500 2,144 H26 A 2,900 2,460 計 8,997 7,586	川越しごと支援センターにおいて、就職活動に関するセミナー(月3回以上)や就職後に必要なスキルを身につけるセミナーを開催する。	雇用支援課

5	就職面接会	継続	開催数 年2回	A	ハローワーク、近隣市町と共催で若者就職面接会、障害者就職面接会を実施した。	a	ハローワーク、近隣市町と共催で若者就職面接会、障害者就職面接会を実施することで、求職者と企業が直接面談する場を設けることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・H22 3回実施 参加求職者456人 ・H23 3回実施 参加求職者431人 ・H24 3回実施 参加求職者444人 ・H25 3回実施 参加求職者380人 ・H26 3回実施 参加求職者345人 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>400</td><td>296</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>400</td><td>347</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>368</td><td>304</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>330</td><td>291</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>322</td><td>296</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,820</td><td>1,534</td></tr> </table>	H22	A	400	296	H23	A	400	347	H24	A	368	304	H25	A	330	291	H26	A	322	296	計		1,820	1,534	ハローワーク川越等と連携して引き続き実施する。	雇用支援課
H22	A	400	296																																
H23	A	400	347																																
H24	A	368	304																																
H25	A	330	291																																
H26	A	322	296																																
計		1,820	1,534																																
6	労働基本調査	継続		D	川越市内の事業所の雇用・労働状況を把握するため調査を実施した。(4年に1回実施)	a	4年に1度、H24に調査を行い、市内事業所の雇用・労働状況を把握することができた。	市内の就業員数5名以上の2000事業所を抽出して調査を実施した。	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>0</td><td>3,690</td></tr> <tr><td>H25</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>3,690</td></tr> </table>	H22	D	—	—	H23	D	—	—	H24	A	0	3,690	H25	D	—	—	H26	D	—	—	計		0	3,690	引き続き4年に1度調査を実施し、市内事業所の雇用・労働状況の把握に努める。	雇用支援課
H22	D	—	—																																
H23	D	—	—																																
H24	A	0	3,690																																
H25	D	—	—																																
H26	D	—	—																																
計		0	3,690																																
7	労働相談	継続	開催数 年12回	A	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を実施した。	a	社会保険労務士が勤労者、事業主双方による相談に乗ることで、労働トラブルの解決に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> ・H22 開催回数 17回 相談14件 ・H23 開催回数 18回 相談6件 ・H24 開催回数 12回 相談6件 ・H25 開催回数 12回 相談11件 ・H26 開催回数 12回 相談11件 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>192</td><td>180</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>192</td><td>192</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>120</td><td>120</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>744</td><td>732</td></tr> </table>	H22	A	192	180	H23	A	192	192	H24	A	120	120	H25	A	120	120	H26	A	120	120	計		744	732	労使双方に労働問題について気軽に専門家に相談できる場を提供し、さらにPRを図っていく。 また、月2回に増やし、夜間にも相談を行うことで、利用を促進する。	雇用支援課
H22	A	192	180																																
H23	A	192	192																																
H24	A	120	120																																
H25	A	120	120																																
H26	A	120	120																																
計		744	732																																
8	一般事業主との連絡会	拡充	参加企業数 年50社	B	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについてのセミナーを実施した。 「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」 開催日 平成27年2月19日 参加者 事業主・人事労務担当者等 26人(男10名 女16名) 	b	事業主に対して企業がすぐに取り組むことができる一般事業主行動計画策定のポイントや意義・効果等を説明していたが、参加者数が少ない状況が続いたため、平成24年度からは事業主に限らず興味のある方も対象に含め、ワークライフバランスセミナーを開催し幅広く周知を図った。	<ul style="list-style-type: none"> H22: 参加企業数10社 参加者数26名 H23: 参加企業数11社 参加者数24名 H24: 参加企業数8社 参加者数32名 H25: 参加者数26名 H26: 参加者数26名 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	B	—	—	H23	B	—	—	H24	B	—	—	H25	B	—	—	H26	B	—	—	計		0	0	参加者が少ないため、企業の規模に関わらず、多くの企業が参加していただけるように幅広く周知する。	子ども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H22	B	—	—																																
H23	B	—	—																																
H24	B	—	—																																
H25	B	—	—																																
H26	B	—	—																																
計		0	0																																
9	女性の就労支援事業	継続		A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・宅建基礎講座23回のべ570名 ・日商簿記3級講座20回のべ227名 ・医療事務講座20回のべ413名 ・介護事務講座13回のべ117名 ・FP技能士3級講座4回のべ84名 ・自分らしき発見講座2回のべ29名 	a	順調に実施できた。	<ul style="list-style-type: none"> H22 受講者数のべ2,401名 H23 受講者数のべ1,903名 H24 受講者数のべ1,535名 H25 受講者数のべ1,769名 H26 受講者数のべ1,440名 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>8,096</td><td>7,698</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>8,093</td><td>7,471</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>7,292</td><td>7,086</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>7,297</td><td>6,922</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>7,226</td><td>6,530</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>38,004</td><td>35,707</td></tr> </table>	H22	A	8,096	7,698	H23	A	8,093	7,471	H24	A	7,292	7,086	H25	A	7,297	6,922	H26	A	7,226	6,530	計		38,004	35,707	引き続き、女性のニーズに対応した就労支援や、社会の動きに対応できる資格支援に努めるとともに、平成27年度からは、ウエスタ川越男女共同参画推進施設での開催を実施する。	女性会館 (平成27年度からは、 男女共同参画課にて実施)
H22	A	8,096	7,698																																
H23	A	8,093	7,471																																
H24	A	7,292	7,086																																
H25	A	7,297	6,922																																
H26	A	7,226	6,530																																
計		38,004	35,707																																

10	特定事業主行動計画	新規		A	平成27年3月に新たな特定事業主行動計画となる「次世代育成支援プログラムⅢ～仕事と子育ての両立推進～」を策定し、庁内へ制度周知した。 また、新規採用職員へ休暇等ハンドブックを配布する等、休暇制度を活用しやすくなるよう努めた。	a	次世代育成支援プログラムの周知及び休暇制度を活用しやすくなるように努めることが出来た。	H22: 出産補助休暇96.3%・育児参加休暇59.3%・年休(1人当たり)14.1日 H23: 出産補助休暇93.6%・育児参加休暇57.4%・年休(1人当たり)14.5日。育児休暇を取得した男性職員の体験談を周知した。 H24: 出産補助休暇92.6%・育児参加休暇63.0%・年休(1人当たり)13.8日。 H25: 出産補助休暇90.7%・育児参加休暇62.8%・年休(1人当たり)13.8日。 H26: 出産補助休暇90.2%・育児参加休暇54.9%・年休(1人当たり)12.9日。	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	行動計画について引き続き職員に周知し、職員が仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備に努める。	職員課
11	母子家庭等就業・自立支援センター事業(6-(2)-8に掲載)	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 3人 パソコン講座 20人 就労相談 293人	a	就業支援専門員による就労相談の実施や、参加費及び託児無料の就労支援セミナー及びパソコン講座を実施することで、ひとり親家庭等の自立を支援することができた。	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 22人 287人 H25 4人 16人 236人 H26 3人 20人 293人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	引き続き、託児付き講座等の開催、就労相談の実施により、就労面から母子家庭の自立を支援していく。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
12	母子自立支援プログラム策定事業(6-(2)-11に掲載)	新規	プログラム策定件数 40件/年	B	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 20件	b	児童扶養手当受給者を対象に自立支援プログラム策定事業を実施し、自立促進のための就労支援を効果的に実施することができた。	プログラム策定件数 H22 39件 H23 40件 H24 15件 H25 24件 H26 20件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 B 再掲 再掲 計 再掲 再掲	引き続き、児童扶養手当受給者の自立を支援するために自立支援プログラムを策定し、継続的な就労支援を行っていく。	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

4-(2) 仕事と子育ての両立の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度未達成状況	平成26年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)				平成27年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ			
1	ファミリー・サポート・センター事業 (5-(1)-7に掲載)	拡充	2箇所	A	【基本事業】(川越市ファミリー・サポート・センター事業) 設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,598人 提供会員 603人 依頼提供会員 81人 活動件数 7,442件 【病児・緊急対応強化事業】(川越市緊急サポート事業) 設置箇所数 1箇所 サポート会員 47人 利用会員 114人 活動回数 207回	a	基本事業である川越市ファミリー・サポート・センター事業は5年間で順調に会員数が増加し、事業についても拡充させることが出来た。また、平成26年度からは新たに緊急サポートセンター事業(病児・緊急対応強化事業)を開始することにより、基本事業で対応できない、緊急、突発的な対応や病児の預かりを実施することができ、より市民に利用しやすいサービ	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人 H25 依頼会員 1,467人 提供会員 566人 依頼提供会員 84人 H26 依頼会員 1,598人 提供会員 603人 依頼提供会員 81人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	平成26年度に基本事業の委託先である川越市ファミリー・サポート・センターに加え、病児・緊急対応強化事業についてNPO法人が設置する緊急サポートセンター埼玉への委託を開始し、目標事業量である2箇所は達成した。当該事業は会員登録後、会員同士の合意が必要であり、会員数の増加が必ずしも活動件数の増加にならないため、会員数だけを持って評価することが難しい点が課題である。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)	
2	学童保育事業 (5-(1)-1に掲載)	拡充		A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【2,037人】	a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。	年度当初入室児童数 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人 平成25年度 1,983人 平成26年度 2,037人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課	
3	病児・病後児保育事業 (5-(1)-3に掲載)	拡充	13箇所	A	病児・病後児保育実施施設3箇所 病後児保育実施施設1箇所 1施設定員3名。【4箇所・12人】	a	病児・病後児保育実施施設3箇所 病後児保育実施施設1箇所 1施設定員3人。【4箇所・12人】 市内東・西・南・中央(北含む)の4地域に実施施設を開設し、1日当たりの利用可能定員数の増と利用者側の利便性の向上をはかることができた。	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】 H25【2箇所・6人】 H26【4箇所・12人】	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	目標事業量13箇所は、病児型3箇所、体調不良児型10箇所の全13箇所であったが、体調不良児型は設置した保育園の園児しか利用できないこと、実施に当たっては保育園に新たに1名看護師を配置する必要があり経費がかかることから整備は難しい。このことから、どの市民にも利用しやすい病児・病後児型実施施設を市内4地域に整備した。今後は広報掲載や保育所・学童保育室等へ広く周知し、潜在的利用者の利用を促す。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)	
4	一時的(特定)保育事業 (5-(1)-4に掲載)	拡充		C	公立保育園5園、法人保育園13園で実施。 【18箇所・9,732人】	c	事業の実施園及び利用者は増加しているが、目標値には達していない。	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人 H25 15箇所・8,381人 H26 18箇所・9,732人	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 C 再掲 再掲 H26 C 再掲 再掲 計 再掲 再掲	今後新たに開設する新規保育所に事業実施を依頼し、事業の拡充に努めていく。	保育課	

5	法人立保育所への支援 (5-(2)-7に掲載)	拡充	A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	a	補助対象の拡大等を図り、実施園及び助成額は増加している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施 H25 20園で実施 H26 22園で実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課
6	家庭保育室委託事業 (5-(2)-8に掲載)	拡充	B	市内の家庭保育室20箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	b	施設の新規指定や、補助額の拡大を図り、助成額等を増額した。保護者負担額については認可保育所よりやや高い状況である。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 H25 市内21箇所 市外23箇所 H26 市内20箇所 市外18箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人 H25 市内3,355人 市外388人 H26 市内3,176人 市外310人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 B 再掲 再掲 H26 B 再掲 再掲 計 再掲 再掲	保育業務を家庭保育室に委託するにあたり、助成の充実に努める。また、小規模保育事業への移行を促す。	保育課
7	認可外保育施設への助成制度 (5-(2)-9に掲載)	拡充	C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。	c	その他の助成の実施には至らなかったが、小規模保育事業への移行を促している。		H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 C 再掲 再掲 H26 C 再掲 再掲 計 再掲 再掲	制度の仕組み等の検討、調査の実施 小規模保育事業への移行の検討	保育課
8	認可外保育施設等の認可化支援 (5-(2)-10に掲載)	継続	D	事業なし	d	認可化支援の調査、研究を継続して実施していく。		H22 D 再掲 再掲 H23 D 再掲 再掲 H24 D 再掲 再掲 H25 D 再掲 再掲 H26 D 再掲 再掲 計 再掲 再掲	助成制度を設け推進を図る。	保育課
9	幼稚園での預かり保育事業 (5-(2)-11に掲載)	継続	A	(人数割(1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×74人=22,200,000円 3歳以上 170,000×491人=83,470,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	a	幼稚園で行う預かり保育に補助を行うことで利用の拡大が図れた。	補助対象園児数 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人 H25 510人 H26 566人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	幼稚園預かり保育の推進に努める。	こども政策課 (H24年度まで:保育課)

10	男女共同参画の促進	新規		A	市民との協働委託事業として、情報紙(オープン)を年2回各5,000部発行した。	a	順調に発行できた。	H22 第32号、第33号各5,000部発行 H23 第34号、第35号各5,000部発行 H24 第36号、第37号各5,000部発行 H25 第38号、第39号各5,000部発行 H26 第40号、第41号各5,000部発行	H22 A 607 607 H23 A 620 620 H24 A 610 610 H25 A 610 610 H26 A 610 610 計 3,057 3,057	引き続き、情報紙の発行を通じて、男女共同参画社会の形成を目指した社会的気運の醸成に努める。	男女共同参画課
				A	女性の社会参画を促進するため、就労支援や資格取得を目標とした各種講座を実施した。また、国・県と協力して各種セミナーの案内や育児休業等のリーフレットを配布した。	a	順調に実施できた。	H22 受講者数のべ2,401名 H23 受講者数のべ1,903名 H24 受講者数のべ1,535名 H25 受講者数のべ1,769名 H26 受講者数のべ1,440名	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	引き続き、女性のニーズに対応した就労支援や社会の動きに対応できる資格支援に努める。	女性会館(平成27年度からは、男女共同参画課にて実施)
11	両親学級(1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	a	妊娠期や出産後に必要な情報を提供することで、妊娠中や産後の不安の解消が図れた。また、父親の育児参加の必要性の周知が図れた。	プレババママスクール H22:5回 102組 200人(夫再掲98人) H23:6回 129組 257人(夫再掲126人) H24:6回 129組257人(夫再掲127人) H25:6回 112組220人(夫再掲109人) H26:6回 93組181人(夫再掲88人)	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援する。	健康づくり支援課
12	家庭教育講座(2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、27講座 参加者延人数 3,354人	a	講座数について目標を上回ることができた。講座を開設したことによって、単に学習するというだけでなく、参加者の交流により子育ての悩みや不安の解消にも役に立った。	H22 17公民館、32講座参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座参加者延人数 3,881人 H25 17公民館、28講座参加者延人数 3,848人 H26 17公民館、27講座参加者延人数 3,354人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する。	中央公民館
13	市民との協働による父親育児講座(3-(1)-4の再掲)	新規	参加者数年30組	E	父親向けの子育てサロン等が公民館でも実施されていることから、こども政策課としては講座を実施せずに、埼玉県が作成した「イクメンの素」(育児初心者の父親向けの育児のヒント集)の閲覧しやすい環境づくりなどで、父親の育児サポートをした。	a	平成22年度から24年度まで、市民活動団体との協働事業として、具体的に活用できる内容で講座を実施したことにより、子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進することができた。	H22:2日間でのべ26組、73人の参加 H23:2日間でのべ22組、38人の参加 H24:2日間でのべ32組、73人の参加 H25:講座は未実施 H26:講座は未実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 E 再掲 再掲 H26 E 再掲 再掲 計 再掲 再掲	埼玉県が作成した「イクメンの素」(育児初心者の父親向けの育児のヒント集)や「チビタビ」(お父さんとチビがチビとタビする埼玉ガイドブック)の閲覧しやすい環境をつくる。	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

【網掛け】重点施策

【平成26年度末達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-1(1) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度末達成状況	平成26年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)					平成27年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ		年度		
1	学童保育事業	拡充	2,251人	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【2,037人】	a	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。	年度当初入室児童数 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人 平成25年度 1,983人 平成26年度 2,037人	H22 A 433,887 426,872 H23 A 432,038 426,057 H24 A 472,157 463,200 H25 A 505,402 500,245 H26 A 554,883 545,450 計 2,398,367 2,361,824	保護者の就労等により、家庭が常時留守になっている児童を、待機児童なく安全に保育する。	教育財務課		
2	学童保育室施設整備事業	新規		A	山田学童保育室改築工事、牛子学童保育室改修工事、名細学童保育室改修工事を行った。修繕等により学童保育室の環境整備を行った。	a	学童保育室の改築及び改修工事を行った。修繕等により、学童保育室の環境整備を行った。	H22 2学童整備 H23 1学童工事設計 H24 1学童移転工事 1学童工事設計 H25 1学童改築工事 1学童工事設計 1学童改修及び和室設置工事 1学童改修工事 H26 1学童改築工事 2学童改修工事	H22 A H23 A H24 A H25 A H26 A 計	基本目標5-(1)-1に計上	南古谷学童保育室改築工事を行う。修繕等により学童保育室の環境整備を行うとともに、計画的に学童保育室の狭隘化、老朽化への対応を進める。	教育財務課	
3	病児・病後児保育事業	拡充	13箇所	A	病児・病後児保育実施施設3箇所 病後児保育実施施設1箇所 1施設定員3人。【4箇所・12人】	a	病児・病後児保育実施施設3箇所 病後児保育実施施設1箇所 1施設定員3人。【4箇所・12人】 市内東・西・南・中央(北含む)の4地域に実施施設を開設し、1日当たりの利用可能定員数の増と利用者側の利便性の向上をはかることができた。	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】 H25【2箇所・6人】 H26【4箇所・12人】	H22 C 9,692 9,600 H23 C 15,516 13,400 H24 C 19,318 19,200 H25 A 19,384 19,307 H26 A 27,123 27,092 計 91,033 61,507	目標事業量13箇所は、病児型3箇所、体調不良児型10箇所の全13箇所であったが、体調不良児型は設置した保育園の園児しか利用できないこと、実施に当たっては保育園に新たに1名看護師を配置する必要があり経費がかかることから整備は難しい。 このことから、どの市民にも利用しやすい病児・病後児型実施施設を市内4地域に整備した。今後は広報掲載や保育所・学童保育室等へ広く周知し、潜在的利用者の利用を促す。	こども育成課 (H24年度まで:保育課)		
4	一時的(特定)保育事業	拡充	50箇所 150,000人	C	公立保育園5園、法人保育園13園で実施。 【18箇所・9,732人】	c	事業の実施園及び利用者は増加しているが、目標値には達していない。	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人 H25 15箇所・8,381人 H26 18箇所・9,732人	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 C — — H26 C — — 計 0 0	今後新たに開設する新規保育所に事業実施を依頼し、事業の拡充に努めていく。	保育課		

5	地域子育て支援拠点事業	拡充	25箇所	A	<p>子育て支援拠点4箇所設置【計18箇所】</p> <p>既存の子育て支援拠点の周知徹底のため、広報川越への掲載、子育て支援施設一覧のチラシのリニューアル等を行った。地域子育て支援センターを中心に連絡会議を開催し、施設間の情報共有を図った。また、平成27年度よりウエスタ川越内に川越市子育て支援センターを開設することに向け、法整備等を行った。</p>	a	<p>子育て支援拠点の設置は、市内18箇所を達成し、保護者の子育ての不安感を緩和すること、子どもの健やかな育ちを支援することに役立った。</p> <p>※「川越市子ども・子育て支援事業計画」策定時の見直しにおいて、平成31年度までに25箇所の設置を目標としたため、設置箇所数としては概ね達成している。</p>	<p>H22 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所）つどいの広場（公立1箇所、法人6箇所）計10箇所を実施。</p> <p>H23 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所）つどいの広場（公立1箇所、法人9箇所）計13箇所を実施。</p> <p>H24 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所）つどいの広場（公立1箇所、法人10箇所）計14箇所を実施。</p> <p>H25 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所）つどいの広場（公立1箇所、法人10箇所）計14箇所を実施。</p> <p>H26 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所）つどいの広場（公立2箇所、法人13箇所）計18箇所を実施。</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>B</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>B</td><td>4,997</td><td>4,866</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>90,246</td><td>80,569</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>112,476</td><td>101,684</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>207,719</td><td>187,119</td></tr> </table>	H22	B	—	—	H23	B	—	—	H24	B	4,997	4,866	H25	A	90,246	80,569	H26	A	112,476	101,684	計		207,719	187,119	<p>川越市子育て支援センター（ウエスタ川越内）を当事業の統括的な役割に位置付け、平成28年度の利用者支援事業の開始に向けた本格的な整備を行っていく。</p> <p>社会福祉法人等が運営主体の拠点に対しては、従前の補助金交付から業務委託へと変更し、平成27年度には2施設増設予定である。法人等へ業務委託をするにあたり、川越市としての当事業の実施内容の方向性をより具体的に示していくこと、及び利用率の上がらない拠点に対する適切な改善策を見つけていくこと等に努めていく。</p>	こども育成課 (H24年度まで：保育課)
H22	B	—	—																																
H23	B	—	—																																
H24	B	4,997	4,866																																
H25	A	90,246	80,569																																
H26	A	112,476	101,684																																
計		207,719	187,119																																
6	保育所による地域子育て支援事業	拡充		A	<p>地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。育児サークル支援。</p> <p>保育所地域活動事業、子育て支援事業、育児相談等の実施。</p>	a	<p>事業の実施園は増加している。</p>	<p>H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。</p> <p>H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。</p> <p>H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。</p> <p>H25 公立20園 法人18園 計38園で実施。</p> <p>H26 公立20園 法人19園 計39園で実施。</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	A	—	—	H23	A	—	—	H24	A	—	—	H25	A	—	—	H26	A	—	—	計		0	0	<p>育児相談及び園庭開放の充実を図る。</p>	保育課
H22	A	—	—																																
H23	A	—	—																																
H24	A	—	—																																
H25	A	—	—																																
H26	A	—	—																																
計		0	0																																
7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	2箇所	A	<p>【基本事業】(川越市ファミリー・サポート・センター事業)</p> <p>設置箇所数 1箇所</p> <p>依頼会員 1,598人</p> <p>提供会員 603人</p> <p>依頼提供会員 81人</p> <p>活動件数 7,442件</p> <p>【病児・緊急対応強化事業】(川越市緊急サポート事業)</p> <p>設置箇所数 1箇所</p> <p>利用会員 114人</p> <p>サポート会員 47人</p> <p>活動回数 207回</p>	a	<p>基本事業である川越市ファミリー・サポート・センター事業は5年間の中で順調に会員数が増加し、事業についても拡充させることが出来た。</p> <p>また、平成26年度からは新たに緊急サポートセンター事業(病児・緊急対応強化事業)を開始することにより、基本事業で対応できない、緊急、突発的な対応や病児の預かりを実施することができ、より市民に利用しやすいサービスを提供できた。</p>	<p>H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人</p> <p>H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人</p> <p>H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人</p> <p>H25 依頼会員 1,467人 提供会員 566人 依頼提供会員 84人</p> <p>H26 依頼会員 1,712人 提供会員 650人 依頼提供会員 81人</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>12,142</td><td>11,295</td></tr> <tr><td>H23</td><td>B</td><td>12,151</td><td>12,089</td></tr> <tr><td>H24</td><td>B</td><td>12,111</td><td>11,807</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>12,377</td><td>12,356</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>15,012</td><td>14,379</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>63,793</td><td>61,926</td></tr> </table>	H22	B	12,142	11,295	H23	B	12,151	12,089	H24	B	12,111	11,807	H25	A	12,377	12,356	H26	A	15,012	14,379	計		63,793	61,926	<p>平成26年度に基本事業の委託先である川越市ファミリー・サポート・センターに加え、病児・緊急対応強化事業についてNPO法人が設置する緊急サポートセンター埼玉への委託を開始し、目標事業量である2箇所は達成した。</p> <p>当該事業は会員登録後、会員同士の合意が必要であり、会員数の増加が必ずしも活動件数の増加にならない問題があり、会員数だけを持って評価することが難しい点が課題である。</p>	こども育成課 (H24年度まで：保育課)
H22	B	12,142	11,295																																
H23	B	12,151	12,089																																
H24	B	12,111	11,807																																
H25	A	12,377	12,356																																
H26	A	15,012	14,379																																
計		63,793	61,926																																

8	ショートステイ事業	新規	1箇所	A	保護者が疾病等の理由により、家庭において養育が困難な児童を実施施設において、一時的に養育・保護を行った。	a	保護者の病気や入院、災害、事故などにより、児童の養育が困難になった場合など、児童養護施設でショートステイ事業を実施し、利用世帯の福祉の向上が図れた。	H23 未実施 H24 未実施 H25 利用世帯10世帯11人 利用者数のべ63人 H26 利用世帯9世帯12人 利用者数のべ43人	H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	保護者の病気や入院、災害、事故などにより、児童の養育が困難になった場合など、児童養護施設などで一時的に児童を短期間預かるショートステイ事業を実施する。	こども安全課 (H25年度まで: こども育成課)
9	パパ・ママ応援ショップ事業	新規	市内協賛店舗・施設数 350箇所	A	中学生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。 チラシやHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布し、こども育成課、市民課、市民センター他4施設においても優待カードの再交付に対応している。 市内協賛店舗・施設数 884箇所と増えており認知度が上がっている。	a	チラシやHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。	市内協賛店舗・施設数 H22 540箇所 H23 596箇所 H24 751箇所 H25 835箇所 H26 884箇所	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	対象となる世帯には優待カードを漏れなく配布し、市内の店舗・施設には協賛店として協力していただけるように事業の周知を図る。	こども育成課 (H24年度まで: 子育て支援課)
10	総合支援窓口	新規		A	市民のニーズに応じて必要とするサービス提供主体への連絡等をおこなった。 また、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」、官民共同事業による検索性の高いサイトの「子育て応援サイト(ママフレ)」を充実させ、知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。 登録件数1,889件。	a	ホームページ、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、モバイルサイト、メール配信等、様々な周知方法を整備し、より多くの人に必要な情報を提供することができた。	H20年1月 総合支援窓口設置 H23年11月 埼玉県地域子育て応援タウン認定 メール配信登録件数 H22 800件 H23 978件 H24 1,031件 H25 1,111件 H26 1,889件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	情報誌や、ホームページ、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。また、来庁された方については、必要とするサービスの案内等を行う。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(2) 保育サービスの充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度末 達成状況	平成26年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	後期計画 達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)				平成27年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ			
1	通常保育事業	拡充	3,840人	C	公立保育所 20園 定員1,830人 法人保育所 22園 定員1,586人 【3,416人】	C	新規保育所の開設等により、定員の拡大を図っているが、目標値に達していないため。	H22 2,705人 H23 3,081人 H24 3,141人 H25 3,281人 H26 3,416人	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 C — — H26 C — — 計 0 0	新規保育所の開設等により定員の拡大を図る。	保育課	

2	延長保育事業	拡充	40箇所 2,040人	A	全20箇所の公立保育所において、1時間(高階保育園では2時間)の延長保育を実施。民間保育所においては、全22箇所を実施。実施園については所要額を助成。 【42箇所・1,655人】 ※人数は民間保育所を除いたもの。	a	保護者の都合により、延長保育が必要となった場合、登録者の他に緊急で受け入れられる体制をとっている。現在のところ、延長保育の実施者は定員数内で運営しているため、規定の条件を満たしていれば利用が可能となる。	H22 33箇所・1,312人 H23 37箇所・1,301人 H24 38箇所・1,464人 H25 40箇所・1,710人 H26 42箇所・1,655人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	平成27年度に開設する新規保育園でも延長保育を実施依頼し、事業の拡充を図る。	保育課
3	統合保育事業	拡充		A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	a	公立保育園20園において、統合保育事業を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施 平成25年4月時 77人実施 平成26年4月時 65人実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	統合保育の充実に努めている。	保育課
4	土曜保育事業	拡充		A	平成22年4月から、名細保育園、高階第三保育園、南古谷第二保育園において事業を開始したことにより、公立保育園10園で、土曜日の一日保育を実施している。	a	後期基本計画期間において、土曜日の一日保育実施園を3園増加し、公立保育園10園で実施することができた。	H22、H23、H24、H25、H26 名細第二、中央、脇田新町、高階第二、仙波町、神明町、霞ヶ関第二、名細、高階第三、南古谷第二保育園の10園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	保育ニーズの高まりにより、徐々に実施園拡大してきたが、引き続き、土曜保育に関するニーズの把握に努めるとともに、法人保育園においても土曜日の一日保育の実施依頼をし、事業の拡充を図る。	保育課
5	産休明け保育事業	拡充		D	公立保育園で産休明け保育の実施については看護師確保など課題が多く実施を見送った。	d	公立保育園での産休明け保育の実施については、看護師確保などの課題が多く実施を見送った。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 D — — H26 D — — 計 0 0	産休明け保育事業については、民間保育園での実施を拡充していく。 公立保育園での実施は、待機児童が解消してから、改めて実施を検討する。	保育課
6	公立保育所の運営方法の検討	拡充		D	近年における保育情勢、他市の民営化に係る状況等をもとに、調査研究をしている。	d	近年における保育情勢、他市の民営化に係る状況等をもとに、調査研究を行った。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 D — — H26 D — — 計 0 0	保育サービスの質の低下を招かない最良の運営方法等について、他市の事例を調査・研究していく。	保育課
7	法人立保育所への支援	拡充		A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	a	補助対象の拡大等を図り、実施園及び助成額は増加している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施 H25 20園で実施 H26 22園で実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計	法人立保育所の保育サービスの充実に努める。	保育課

8	家庭保育室委託事業	拡充		B	市内の家庭保育室20箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	b	施設の新規指定や、補助額の拡大を図り、助成額を増額した。保護者負担額については認可保育所よりやや高い状況である。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 H25 市内21箇所 市外23箇所 H26 市内20箇所 市外18箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人 H25 市内3,355人 市外388人 H26 市内3,176人 市外310人	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>B</td><td>208,009</td><td>207,471</td></tr> <tr><td>H23</td><td>B</td><td>201,500</td><td>198,512</td></tr> <tr><td>H24</td><td>B</td><td>227,082</td><td>227,082</td></tr> <tr><td>H25</td><td>B</td><td>227,820</td><td>223,814</td></tr> <tr><td>H26</td><td>B</td><td>242,009</td><td>208,790</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1,106,420</td><td>1,065,669</td></tr> </table>	H22	B	208,009	207,471	H23	B	201,500	198,512	H24	B	227,082	227,082	H25	B	227,820	223,814	H26	B	242,009	208,790	計		1,106,420	1,065,669	保護者への補助を増額し、保護者負担額を認可保育所同様になるよう努める。また施設に対しては小規模保育への移行を促す。	保育課
H22	B	208,009	207,471																																
H23	B	201,500	198,512																																
H24	B	227,082	227,082																																
H25	B	227,820	223,814																																
H26	B	242,009	208,790																																
計		1,106,420	1,065,669																																
9	認可外保育施設への助成制度	拡充		C	障害児の保育については助成を実施。その他の助成については調査、研究を行っている。	c	その他の助成の実施には至らなかったが、小規模保育事業への移行を促した。	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>C</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>C</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>C</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td>C</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>C</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	C	—	—	H23	C	—	—	H24	C	—	—	H25	C	—	—	H26	C	—	—	計		0	0	制度の仕組み等の検討、調査の実施	保育課	
H22	C	—	—																																
H23	C	—	—																																
H24	C	—	—																																
H25	C	—	—																																
H26	C	—	—																																
計		0	0																																
10	認可外保育施設等の認可化支援	継続		D	事業なし	d	認可化支援の調査、研究を継続して実施していく。	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H23</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>D</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	H22	D	—	—	H23	D	—	—	H24	D	—	—	H25	D	—	—	H26	D	—	—	計		0	0	助成制度を設け推進を図る。	保育課	
H22	D	—	—																																
H23	D	—	—																																
H24	D	—	—																																
H25	D	—	—																																
H26	D	—	—																																
計		0	0																																
11	幼稚園での預かり保育事業	継続		A	(人数割(1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×74人=22,200,000円 3歳以上 170,000×491人=83,470,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	a	幼稚園で行う預かり保育に補助を行うことで利用の拡大が図れた。	補助対象園園児数 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人 H25 510人 H26 566人	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>105,000</td><td>100,750</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>99,930</td><td>108,490</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>117,940</td><td>115,950</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>113,412</td><td>117,760</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>122,540</td><td>127,150</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>558,822</td><td>570,100</td></tr> </table>	H22	A	105,000	100,750	H23	A	99,930	108,490	H24	A	117,940	115,950	H25	A	113,412	117,760	H26	A	122,540	127,150	計		558,822	570,100	幼稚園預かり保育の推進に努める。	こども政策課 (H24年度まで:保育課)
H22	A	105,000	100,750																																
H23	A	99,930	108,490																																
H24	A	117,940	115,950																																
H25	A	113,412	117,760																																
H26	A	122,540	127,150																																
計		558,822	570,100																																

12	保育士研修	拡充		A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 市主催の保育園職員研修年4回 公立1,637人・私立363人 <テーマ別の研修状況> ・乳幼児保育研修 36回 参加者 995人 ・障害児保育研修 27回 参加者 308人 ・こどもの病気予防救急法の研修 16回 参加者 166人 ・食育に関する研修 27回 参加者 309人 ・心とからだの発達に関する研修 24回 参加者 93人 ・各年齢別研究会での学習会 64回 参加者 1,173人 その他研修会 39回 参加者 161人	a	・社会情勢やたくさんの事例に学ぶことにより、保育園に求められている多様なニーズに対応するための足がかりとなる。 ・専門性を身に着つけ、こども一人ひとりの成長や集団としての成長をより深く考えたり、見直したりできる。 ・職員全員で研修会をうけることで共通認識が深まり同じ思いで保育の実践にあたる事ができる。	H19 228回 3,141人 H20 256回 3,664人 H21 311回 3,065人 H22 462回 5,401人 H23 410回 5,154人 H24 457回 5,414人 H25 491回 5,510人 H26 237回 5,805人	H22 A 2,361 2,112 H23 A 2,361 1,738 H24 A 2,361 2,455 H25 A 2,361 2,339 H26 A 2,167 2,167 計 11,611 10,811	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施予定。 法人立・家庭保育室及び認可外の保育施設へも研修会を広く周知し、保育の質の向上に努める。 市主催の研修会年4回 ・乳幼児保育研修 ・障害児保育研修 ・こどもの病気予防救急法の研修 ・食育に関する研修 ・心とからだの発達に関する研修 ・各年齢別研究会での学習会 ・保育園内での学習会を積極的に行い朝夕の職員をを対象とする保育の学習会を年2回は各保育園で実施する。	保育課
13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充		C	平成22年度に引き続き公立園及び法人園で実施できなかった。	c	・第三者評価の実績を踏まえて今後の保育事業を見直していく。 ・私立保育園については、監査項目等で保育サービスの向上に努めていくよう指導していく。	H18 高階保育園 H19 中央保育園 H20 仙波町保育園 H21 名細保育園 H22 - H23 -	H22 C - - H23 C - - H24 C - - H25 C - - H26 C - - 計 0 0	公立園についてはH18から4年連続して実施しており、今後は法人園での実施が望まれる。	保育課
14	認定こども園	新規		B	施設設置に向けての相談業務を実施。助成制度について研究を行っている。	b	施設設置に向けて相談業務を実施した。 基準条例を整備し、認可に向けた準備を進めている。		H22 D - - H23 D - - H24 D - - H25 D - - H26 B - - 計 0 0	新規設置に向け、具体的な計画を図る。	保育課
15	家庭的保育事業(保育ママ)	新規	30人	C	他市の状況を調査研究する。	d	後期計画実施期間において、認可保育園のほかに、0~2歳児の保育の拡充については、家庭保育室の実施を優先的に行ったため。		H22 C - - H23 C - - H24 C - - H25 C - - H26 C - - 計 0 0	子ども子育て支援新制度における地域型保育事業として、小規模保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業と併せて事業推進を図っていく。	保育課
16	トワイライトステイ事業	新規	5人・1箇所	A	保護者が仕事等の理由により、平日の夜間に家庭において養育することが困難な児童を実施施設において保護し、食事の提供等を行った。	a	保護者が仕事等の理由により、平日の夜間に家庭において養育することが困難な児童を児童養護施設において保護し、食事の提供等を行うことで、利用世帯の福祉の向上が図れた。	H23 利用世帯 3世帯4人 利用者数 述べ55人 ※H23年度は8月から実施 H24 利用世帯 8世帯14人 利用者数 延べ202人 H25 利用世帯 9世帯15人 利用者数 延べ179人 H26 利用世帯 7世帯11人 利用者数 延べ218人	H22 D - - H23 A 3,199 1,018 H24 A 3,024 2,332 H25 A 7,745 6,694 H26 A 6,083 5,975 計 20,051 16,019	広報、ホームページなどを活用することで、保護者の帰宅が遅くなるなどの理由で当該事業のサービスを必要とする世帯への周知を図っていく。	こども安全課 (H25年度まで:こども育成課)

17	休日保育事業	新規	180人・3箇所	D	近隣市の実施状況・保育料等について調査・研究する。	d	近隣市の実施状況・保育料等について調査・研究する。	H22	D	—	—	利用ニーズの把握をしたうえで、検討・調整を図っていく。	保育課
								H23	D	—	—		
								H24	D	—	—		
								H25	D	—	—		
								H26	D	—	—		
								計		0	0		

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-（3）子どもの健全育成の取組

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度未達成状況	平成26年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)				平成27年度以降の方向性	所管課
							実績評価		年度	進捗状況		
1	子どもに関する条例又は宣言等	継続			関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。	c	継続的に関係課で協議を続けてきたが、子ども・子育て支援新制度の創設や国の関連法が整備されてきた状況もあり、制定には至らなかった。	H23 検討会議1回 H24 検討会議1回 H25 検討会議1回 H26 検討会議1回	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 C — — H26 C — — 計 0 0	平成27年度から31年度を計画期間とする「川越市子ども・子育て支援事業計画」に、子どもの権利を推進するための理念や目標、施策を掲載しているため、まずは、計画に基づくさまざまな施策を着実に推進していくことに重点を置き、今後は必要時に関係課で協議を行っていく。	こども政策課 こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課) こども育成課 (H24年度まで青少年課) 人権推進課 教育指導課	
2	人権保育	継続			川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに、保育所において人権保育を推進している。	a	川越市人権保育推進委員会主催の人権講演会の実施、人権関係の絵本の購入などを通し、人権保育を推進することができた。	公立保育園20園で実施。	H22 A 450 491 H23 A 720 608 H24 A 450 535 H25 A 720 613 H26 A 450 660 計 2,790 2,907	人権保育の推進を図っていく。	保育課	

3	子ども手当	新規		法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 70,000円 延児童数 6人	A	a	法律に基づき、適切に子ども手当の支給管理を行うことができた。	H22:総支給額 5,581,439,000円 延児童数 429,343人 H23:総支給額 6,436,314,000円 延児童数 518,254人 H24:総支給額 1,028,859,000円 延児童数 91,526人 H25:総支給額 0円 延児童数 0人 H26:総支給額 70,000円 延児童数 6人	H22 A 5,595,364 5,581,439 H23 A 6,436,574 6,436,314 H24 A 1,028,859 1,028,859 H25 E 0 0 H26 E - 70 計 13,060,797 13,046,682	平成23年度で制度は終了し、平成24年度からは児童手当に移行した。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
	(児童手当)	新規		法律に基づき、適切に児童手当の支給、管理を行った。 総支給額 5,648,835,000円 延児童数 519,186人	A	a	法律に基づき、適切に児童手当の支給管理を行うことができた。	H24:総支給額 4,718,355,000円 延児童数 429,821人 H25:総支給額 5,684,400,000円 延児童数 521,118人 H26:総支給額 5,648,835,000円 延児童数 519,186人	H22 - - - H23 - - - H24 A 4,723,480 4,718,355 H25 A 5,684,725 5,684,400 H26 A 5,703,340 5,648,835 計 16,111,545 16,051,590	継続	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
4	幼稚園就園奨励費	拡充		国庫補助対象者の他、国庫補助対象外の方についても継続して市単独での補助を実施している。	A	a	市内在住で満3歳から5歳までの幼児を、特定教育施設以外の幼稚園に通園させている保護者に対して、国の基準に基づいて保育料等の補助を行うことで幼児教育の支援が図れた	H22 決算額481,084千円 支給対象園児数6,140人 H23 決算額501,208千円 支給対象園児数6,175人 H24 決算額518,074千円 支給対象園児数6,372人 H25 決算額548,231千円 支給対象園児数6,485人 H26 決算額732,914千円 支給対象園児数6,607人	H22 A 485,995 481,084 H23 A 506,346 501,208 H24 A 519,949 518,074 H25 A 555,610 548,231 H26 A 733,100 732,914 計 2,801,000 2,781,511	国庫補助対象者については、国庫補助増額とともに、単価を増額。国庫補助対象外の方についても、継続して市単独での補助を実施。	こども政策課 (H24年度まで: 教育財務課)
5	スポーツ少年団 (2-(3)-6の再掲)	継続		体育祭等における単位団の交流、指導者を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	A	a	体育祭等における単位団の交流、指導者を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図ることができた。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを毎年開催することにより、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,059名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名 H25 体カテスト会1,418名 体育祭1,608名 新春マラソン1,332名 H26 体カテスト会1,249名 体育祭1,697名 新春マラソン1,378名	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)

6	学校体育施設開放事業 (2-(3)-7の再掲)	継続		A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(8月)、高階西小・山田小の学校プール開放(7月・8月)を行った。	a	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放、市内小学校2校のプールを開放する学校プール開放により、地域住民の方が水泳の楽しさを味わうことができた。	H22 学校体育施設開放参加者数396,728名。霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数111名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数186名。 H24 学校体育施設開放参加者数407,529名。霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。 H25 学校体育施設開放参加者数426,374名。霞ヶ関北小プール開放参加者数1,821名。牛子小・山田小プール開放参加者数201名。 H26 学校体育施設開放参加者数405,712名。霞ヶ関北小プール開放参加者数1,259名。高階西小・山田小プール開放参加者数206名。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	継続	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
7	地域組織活動への研修	継続		D	実施なし	b	平成23年～25年度は保健推進員や健康づくりボランティアグループに対して、乳幼児の事故防止の研修を実施できた。	H23 保健推進員ブロック会議3回 85人 H24 保健推進員ブロック会議3回 90人 H25 やまぶき21定例会18人	H22 C — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 D — — 計 0 0	保健推進員等に対して、市の母子保健事業に関する情報提供をしていく。	健康づくり支援課
8	児童館	継続		A	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設として児童館機能の導入について検討した。また、既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得た、子どもの居場所づくりを推進した。	a	既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得て、子どもの居場所づくりを推進した。	市民ボランティア等の協力を得て実施した事業実施回数 H24 延べ1,419回 H25 延べ1,681回 H26 延べ1,781回	H22 D — — H23 D — — H24 B — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得た、子どもの居場所づくりを推進していく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
9	児童遊園	継続		A	市内151箇所の児童遊園について、平成25年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕を行った。 ・遊具の修繕等 延べ47箇所	a	安全点検の実施劣化が著しく危険と判断した遊具については、適切な管理がほぼ実施できたと考えられる。	遊具の修繕等 H22 延べ64箇所 H23 延べ83箇所 H24 延べ98箇所 H25 延べ41箇所 H26 延べ47箇所	H22 A 38,122 23,497 H23 A 9,902 22,281 H24 A 22,444 21,737 H25 A 21,198 19,155 H26 A 21,420 20,539 計 113,086 107,209	今後も点検で指摘の受けた遊具については、計画的に修繕を実施し、遊具の安全性確保を進めていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)

10	児童館機能の整備 (児童センター子どもの城)	拡充	A	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 248日 ○利用者数 54,177人 【内訳】 ・個人利用 33,708人 ・団体利用 328人 ・集団指導 16,513人 ・天文部門 3,628人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 197回 8,289人 ・学童対象 110回 1,387人 ・児童対象 301回 6,837人 ・プラネタリウム 3,384人 ・天体観測室 244人 	a	<p>利用者ニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・機関・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを、のべ300,359人に提供した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 1,411日 ○利用者数 300,359人 (過去5年間計) 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>48,075</td><td>39,242</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>90,381</td><td>78,825</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>42,445</td><td>42,138</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>43,449</td><td>42,393</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>69,693</td><td>67,743</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>294,043</td><td>270,341</td></tr> </table>	H22	A	48,075	39,242	H23	A	90,381	78,825	H24	A	42,445	42,138	H25	A	43,449	42,393	H26	A	69,693	67,743	計		294,043	270,341	青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
	H22	A	48,075	39,242																														
	H23	A	90,381	78,825																														
H24	A	42,445	42,138																															
H25	A	43,449	42,393																															
H26	A	69,693	67,743																															
計		294,043	270,341																															
児童館機能の整備 (川越駅東口児童館)		A	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 307日 ○利用者数 52,698人 【内訳】 ・個人利用 41,951人 ・団体利用 0人 ・集団指導 10,747人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 170回 9,739人 ・学童対象 189回 928人 ・児童対象 11回 80人 	a	<p>利用者ニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・機関・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを延べ255,231人に提供した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 1,539日 ○利用者数 255,231人 (過去5年間計) 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>15,936</td><td>9,743</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>17,336</td><td>13,231</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>14,812</td><td>14,084</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>19,434</td><td>18,832</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>19,165</td><td>18,888</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>86,683</td><td>74,778</td></tr> </table>	H22	A	15,936	9,743	H23	A	17,336	13,231	H24	A	14,812	14,084	H25	A	19,434	18,832	H26	A	19,165	18,888	計		86,683	74,778	青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。		
H22	A	15,936	9,743																															
H23	A	17,336	13,231																															
H24	A	14,812	14,084																															
H25	A	19,434	18,832																															
H26	A	19,165	18,888																															
計		86,683	74,778																															
児童館機能の整備 (高階児童館)		A	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 308日 ○利用者数 52,898人 【内訳】 ・個人利用 41,134人 ・団体利用 0人 ・集団指導 11,764人 【実施事業及び参加者数】 ・乳幼児と保護者対象 161回 9,058人 ・学童対象 12回 125人 ・児童対象 630回 2,581人 	a	<p>利用者ニーズの多様化を踏まえつつ、市民ボランティア等事業協力者、関係各課・機関・団体等と連携して、青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスを延べ259,337人に提供した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数 1,541日 ○利用者数 259,337人 (過去5年間計) 	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>15,938</td><td>13,874</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>19,428</td><td>18,276</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>19,058</td><td>18,109</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>1,272</td><td>1,151</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>1,257</td><td>1,165</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>56,953</td><td>52,575</td></tr> </table>	H22	A	15,938	13,874	H23	A	19,428	18,276	H24	A	19,058	18,109	H25	A	1,272	1,151	H26	A	1,257	1,165	計		56,953	52,575	青少年健全育成及び子育て支援に係る各種サービスの提供に努める。		
H22	A	15,938	13,874																															
H23	A	19,428	18,276																															
H24	A	19,058	18,109																															
H25	A	1,272	1,151																															
H26	A	1,257	1,165																															
計		56,953	52,575																															

11	青少年市民会議	継続		A	<p>青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費補助 22地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・全22地区への地区会議活動費補助により、青少年健全育成活動が各地区で活発に実施された。 ・青少年健全育成市民大会を開催し、多くの市民が参加した。感謝状贈呈・青少年育成活動顕彰・青少年地域活動顕彰・少年の主張作文優秀作品の表彰・講演・少年の主張作文発表・第13回少年の翼体験発表・大会宣言・青少年健全育成事例発表等、盛況に行われた。 	<table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>地区会議活動費補助 22地区</td> <td>3,016</td> <td>2,982</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>モデル地区補助事業 6地区</td> <td>3,041</td> <td>3,041</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>青年海外協力隊激励 1名</td> <td>3,041</td> <td>3,036</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>青少年健全育成市民大会参加者 448名</td> <td>4,004</td> <td>4,004</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>地区会議活動費補助 22地区</td> <td>4,068</td> <td>4,068</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>17,170</td> <td>17,131</td> </tr> </table>	H22	地区会議活動費補助 22地区	3,016	2,982	H23	モデル地区補助事業 6地区	3,041	3,041	H24	青年海外協力隊激励 1名	3,041	3,036	H25	青少年健全育成市民大会参加者 448名	4,004	4,004	H26	地区会議活動費補助 22地区	4,068	4,068	計		17,170	17,131	引き続き、市民会議会員である機関・団体の連携の下、市民総ぐるみの青少年健全育成の推進を図っていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	地区会議活動費補助 22地区	3,016	2,982																															
H23	モデル地区補助事業 6地区	3,041	3,041																															
H24	青年海外協力隊激励 1名	3,041	3,036																															
H25	青少年健全育成市民大会参加者 448名	4,004	4,004																															
H26	地区会議活動費補助 22地区	4,068	4,068																															
計		17,170	17,131																															
12	青少年団体	継続		A	<p>青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図る。</p> <p>【補助金交付対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 ・ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 ・ガールスカウト川越地区協議会 ・川越市吹奏楽団 ・川越少年少女合唱団 	a	<p>市内で活動する青少年団体に対し補助金を交付し、様々な青少年健全育成活動が実施された。</p>	<table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>川越市青少年相談員協議会 100,000円</td> <td>407</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 77,000円</td> <td>384</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>ガールスカウト川越地区協議会 52,159円</td> <td>480</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>川越市吹奏楽団 90,000円</td> <td>470</td> <td>445</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>川越少年少女合唱団 100,000円</td> <td>425</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2,166</td> <td>1,986</td> </tr> </table>	H22	川越市青少年相談員協議会 100,000円	407	269	H23	ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 77,000円	384	382	H24	ガールスカウト川越地区協議会 52,159円	480	470	H25	川越市吹奏楽団 90,000円	470	445	H26	川越少年少女合唱団 100,000円	425	420	計		2,166	1,986	引き続き、青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図っていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H22	川越市青少年相談員協議会 100,000円	407	269																															
H23	ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 77,000円	384	382																															
H24	ガールスカウト川越地区協議会 52,159円	480	470																															
H25	川越市吹奏楽団 90,000円	470	445																															
H26	川越少年少女合唱団 100,000円	425	420																															
計		2,166	1,986																															
13	「子ども110番の家」	継続		A	<p>こども110番の家看板の市内統一を図るため、平成25年度及び26年度の2箇年計画で看板の作製・交換を行った。さらに地域・学校・PTAにおけるこども110番の家協力者名簿の共有化を図り、子どもたちが安全に生活する環境の整備に努めた。</p>	a	<p>こども110番の家看板を市内全域で統一することができ、子どもたちが安全に生活する環境整備を推進できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>H22~24</td> <td>川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 146,404円</td> <td>325</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>こども110番の家看板作製費用 640,500円</td> <td>839</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 155,900円</td> <td>860</td> <td>858</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>こども110番の家看板作製費用 702,000円</td> <td>2,699</td> <td>2,643</td> </tr> </table>	H22~24	川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金	350	350	H25	川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 146,404円	325	324	H26	こども110番の家看板作製費用 640,500円	839	787	H26	川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 155,900円	860	858	計	こども110番の家看板作製費用 702,000円	2,699	2,643	こども110番の家協力者名簿や看板の更新など継続的な事業の仕組みづくりを整備する。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)				
H22~24	川越市青少年を育てる地区会議子ども110番の家事業運営活動費助成金	350	350																															
H25	川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 146,404円	325	324																															
H26	こども110番の家看板作製費用 640,500円	839	787																															
H26	川越市青少年を育てる市民会議事業補助金 155,900円	860	858																															
計	こども110番の家看板作製費用 702,000円	2,699	2,643																															

14	青少年の体験活動事業	継続	A	次代を担う青少年の健全育成を図るため、第13回川越市少年の翼事業を実施した。 【事業概要】 ・事前研修 3回 ・本研修 4泊5日、北海道河西郡中札内村他 ・研修生 市内中学生44名	a	北海道での研修、共同生活、自然体験を通し、参加者の次代を担う者としての自覚を高め、次世代リーダー育成を推進することができた。	H22 研修生44名 H23 研修生44名 H24 研修生44名 H25 研修生44名 H26 研修生44名	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>3,510</td><td>2,706</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>3,310</td><td>3,005</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>3,200</td><td>2,855</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>3,200</td><td>3,200</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>3,200</td><td>3,200</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>16,420</td><td>14,966</td></tr> </table>	H22	A	3,510	2,706	H23	A	3,310	3,005	H24	A	3,200	2,855	H25	A	3,200	3,200	H26	A	3,200	3,200	計		16,420	14,966	次代を担う青少年の健全育成を図るため、引き続き、第14回川越市少年の翼事業を実施する。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)																																																																																															
H22	A	3,510	2,706																																																																																																																														
H23	A	3,310	3,005																																																																																																																														
H24	A	3,200	2,855																																																																																																																														
H25	A	3,200	3,200																																																																																																																														
H26	A	3,200	3,200																																																																																																																														
計		16,420	14,966																																																																																																																														
15	非行防止活動	継続	A	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めた。 ・街頭補導回数 660回 ・従事延補導員数 2,894人 ・声かけ数 2,711回 ・相談件数 40件	a	一定水準の事業量を維持することで、青少年の非行防止体制を確保できた。	<table border="1"> <tr><td>H21</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 673回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 3,057人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 3,437回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 41件</td></tr> <tr><td>H22</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 673回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 3,022人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 3,005回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 101件</td></tr> <tr><td>H23</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 681回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 3,122人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 3,480回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 72件</td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 680回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 3,054人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 3,117回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 44件</td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 639回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 2,925人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 2,703回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 45件</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">・街頭補導回数 660回</td></tr> <tr><td colspan="4">・従事延補導員数 2,894人</td></tr> <tr><td colspan="4">・声かけ数 2,711回</td></tr> <tr><td colspan="4">・相談件数 40件</td></tr> </table>	H21				・街頭補導回数 673回				・従事延補導員数 3,057人				・声かけ数 3,437回				・相談件数 41件				H22				・街頭補導回数 673回				・従事延補導員数 3,022人				・声かけ数 3,005回				・相談件数 101件				H23				・街頭補導回数 681回				・従事延補導員数 3,122人				・声かけ数 3,480回				・相談件数 72件				H24				・街頭補導回数 680回				・従事延補導員数 3,054人				・声かけ数 3,117回				・相談件数 44件				H25				・街頭補導回数 639回				・従事延補導員数 2,925人				・声かけ数 2,703回				・相談件数 45件				H26				・街頭補導回数 660回				・従事延補導員数 2,894人				・声かけ数 2,711回				・相談件数 40件				街頭補導活動及び相談業務等を通じて、引き続き、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めていく。	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
H21																																																																																																																																	
・街頭補導回数 673回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 3,057人																																																																																																																																	
・声かけ数 3,437回																																																																																																																																	
・相談件数 41件																																																																																																																																	
H22																																																																																																																																	
・街頭補導回数 673回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 3,022人																																																																																																																																	
・声かけ数 3,005回																																																																																																																																	
・相談件数 101件																																																																																																																																	
H23																																																																																																																																	
・街頭補導回数 681回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 3,122人																																																																																																																																	
・声かけ数 3,480回																																																																																																																																	
・相談件数 72件																																																																																																																																	
H24																																																																																																																																	
・街頭補導回数 680回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 3,054人																																																																																																																																	
・声かけ数 3,117回																																																																																																																																	
・相談件数 44件																																																																																																																																	
H25																																																																																																																																	
・街頭補導回数 639回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 2,925人																																																																																																																																	
・声かけ数 2,703回																																																																																																																																	
・相談件数 45件																																																																																																																																	
H26																																																																																																																																	
・街頭補導回数 660回																																																																																																																																	
・従事延補導員数 2,894人																																																																																																																																	
・声かけ数 2,711回																																																																																																																																	
・相談件数 40件																																																																																																																																	
16	適応指導教室(2-(2)-6の再掲)	継続	A	教育センター分室(リベール)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。	a	個に応じた目標を立て、学習活動や体験活動を行うことにより、自分自身に自信を持つことができたり、自分の進路について前向きに考えたりすることができた。	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> </table>	H22	A	再掲	再掲	H23	A	再掲	再掲	H24	A	再掲	再掲	H25	A	再掲	再掲	H26	A	再掲	再掲	計		再掲	再掲	学習支援や体験活動、人間関係づくりなどを通して、児童生徒一人一人のよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための支援を行っていく。	教育センター (旧 教育研究所)																																																																																																
H22	A	再掲	再掲																																																																																																																														
H23	A	再掲	再掲																																																																																																																														
H24	A	再掲	再掲																																																																																																																														
H25	A	再掲	再掲																																																																																																																														
H26	A	再掲	再掲																																																																																																																														
計		再掲	再掲																																																																																																																														

17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充	事業に携わった人数 10,000人	A	事業に携わった人数 32,935人 各地区の事業合計数734 サポート委員の合計数 637人 学校応援団活動の合計数 592 市内14地区に分かれ、各地区での事業が活発に行われた。	a	市内14地区全体での活動が10年目を迎え、各地区の活動が安定して行われている。参加者も年々増え、活動内容の充実が図られている。	<p>○事業に携わった人数</p> <p>H22 15,409人 (前年比138.8%) H23 22,196人 (前年比144.0%) H24 33,696人 (前年比151.8%) H25 32,848人 (前年比97.4%) H26 32,935人 (前年比100.2%)</p> <p>○各地区の事業合計数</p> <p>H22 203 (前年比114.0%) H23 269 (前年比132.5%) H24 352 (前年比130.9%) H25 709 (前年比201.4%) H26 734 (前年比103.5%)</p> <p>○サポート委員の合計数</p> <p>H22 569人 (前年比103.1%) H23 572人 (前年比100.5%) H24 607人 (前年比106.1%) H25 615人 (前年比101.3%) H26 637人 (前年比103.5%)</p> <p>○学校応援団活動の合計数</p> <p>H22 138 (前年比129.0%) H23 144 (前年比104.3%) H24 225 (前年比156.3%) H25 569 (前年比252.8%) H26 592 (前年比104.0%)</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>5,349</td><td>4,898</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>5,000</td><td>4,225</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>4,457</td><td>4,193</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>4,025</td><td>3,859</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>3,915</td><td>3,911</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>22,746</td><td>21,086</td></tr> </table>	H22	A	5,349	4,898	H23	A	5,000	4,225	H24	A	4,457	4,193	H25	A	4,025	3,859	H26	A	3,915	3,911	計		22,746	21,086	それぞれの地域の特色を生かした事業が活発に展開されている。一部のスタッフに負担が偏らないよう、情報交換・合同事業・人材発掘等を行っている。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
H22	A	5,349	4,898																																
H23	A	5,000	4,225																																
H24	A	4,457	4,193																																
H25	A	4,025	3,859																																
H26	A	3,915	3,911																																
計		22,746	21,086																																
18	ブックスタート事業	継続		A	48回実施し、2,670組が参加した。	a	4か月児健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、大勢の保護者と赤ちゃんに絵本を手渡すことができた。	<p>H22 44回実施 2,601組 H23 48回実施 2,977組 H24 48回実施 2,718組 H25 48回実施 2,937組 H26 48回実施 2,670組</p>	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>566</td><td>362</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>1,570</td><td>1,712</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>1,448</td><td>1,517</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>1,574</td><td>1,698</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>1,658</td><td>1,695</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>6,816</td><td>6,984</td></tr> </table>	H22	A	566	362	H23	A	1,570	1,712	H24	A	1,448	1,517	H25	A	1,574	1,698	H26	A	1,658	1,695	計		6,816	6,984	引き続き、親子が絵本を通じてふれあいの時間を持つことができるよう、事業を進めていく。	中央図書館
H22	A	566	362																																
H23	A	1,570	1,712																																
H24	A	1,448	1,517																																
H25	A	1,574	1,698																																
H26	A	1,658	1,695																																
計		6,816	6,984																																

19	いないいないばあのおはなし会	継続		A	4館合わせて94回実施し、1,897人が参加した。	a	0歳から1歳の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行い、ふれあいの時間を楽しんでもらった。	H22 96回実施 1,805人参加 H23 96回実施 1,884人参加 H24 94回実施 1,822人参加 H25 93回実施 1,612人参加 H26 94回実施 1,897人参加	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	引き続き、小さい時から本に親しむ環境を提供できるよう、事業を進めていく。	中央図書館
20	民生委員・児童委員研修会	継続	年4回実施	A	民生委員・児童委員研修 ・民生委員児童委員課題別研修 117人 ・現任主任児童委員研修 17人 ・民生委員・児童委員協議会会長・副会長研修 44人 ・新任民生委員・児童委員及び主任児童委員研修 19人 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。	a	民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応するための知識・スキル等の向上を図ることができた。	・中堅民生委員・児童委員研修 H22:85人 H23:67人 H24:75人 ・民生委員児童委員課題別研修(H25~) H25:95人 H26:117人 ・現任主任児童委員研修 H22:20人 H23:20人 H24:19人 H25:17人 H26:17人 ・新任主任児童委員研修 H22:25人 H23:3人 H24:1人 ・新任民生委員・児童委員及び児童委員研修 H22:355人 H23:13人 H24:7人 H25:206人 H26:20人 ・民生委員・児童委員新任副会長研修 H25:16人 ・民生委員・児童委員協議会会長研修 H25:20人 ・民生委員・児童委員協議会会長・副会長研修 H26:44人	H22 A 170 114 H23 A 120 65 H24 A 120 66 H25 A 200 100 H26 A 100 61 計 710 406	民生委員・児童委員研修 ・民生委員・児童委員課題別研修 ・現任主任児童委員研修 ・民生委員・児童委員協議会会長・副会長研修 ・新任民生委員・児童委員及び主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	福祉推進課
21	スチューデントサポーター派遣事業	継続		A	大学で心理を学ぶ学生による不登校児童生徒への支援として、学校訪問や家庭訪問、教育センター分室(リベラー)における会話や学習支援により、児童生徒の悩みや不安の解消を図り、不登校の予防、解消に向けた支援を行った。	a	不登校児童生徒にとって、比較的年齢の近い学生が対応することにより、心を開き、悩みの解消となることができた。学校や教師に対して、アレルギーのある児童生徒にとっては、学校から離れた場(家庭やリベラー)で対応するため、抵抗感なく、関わりを持つことができた。	H22 A 488 220 H23 A 488 347 H24 A 458 334 H25 A 458 640 H26 A 611 584 計 2,503 2,125	スチューデント・サポーターの活動時間や支援の方法について、さらに調整を図り、支援の回数を含めて活動の充実を図っていく。	教育センター (旧 教育研究所)	
22	スクールランチ(生徒指導推進委員)の配置	新規	150日 54名	A	学校における生徒指導上の諸課題に対応するために、小中学校にスクールランチを配置し、生徒指導体制の充実と児童生徒一人一人への適切な指導に努めた。のべ66名のスクールランチを一人当たり年間約123日学級に配置し、諸課題の解決に取り組んだ。	a	児童生徒の支援のため、スクールランチを計画的に配置することができた。また、より効果をあげるため、学校の要望に沿った配置に努める等、支援の質を高めることができた。	H23 I期 21名 35校配置 II期 20名 34校配置 III期 21名 37校配置 H24 I期 21名 31校配置 II期 22名 33校配置 III期 22名 35校配置 H25 I期 21名 42校配置 II期 21名 40校配置 III期 21名 39校配置 H26 I期 22名 28校配置 II期 22名 30校配置 III期 22名 33校配置	H22 A 13,148 12,819 H23 A 13,148 12,607 H24 A 13,147 12,750 H25 B 12,296 12,006 H26 A 13,072 12,915 計 64,811 63,097	小中連携による指導主事訪問や生徒指導訪問等の機会を通して学校の現状把握に努め、効果的なスクールランチの配置を進める。	教育指導課

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(4) 体験活動・交流の促進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度未達成状況	平成26年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)						平成27年度以降の方向性	所管課		
							実績評価		既存統計データ		年度進捗状況				予算額	決算額
1	川越PTA連合会活動	継続		A	市内各小中学校PTAの常置委員会向けにPTA運営講座を開設。PTA活動の推進に努めた。	a	各年度当初にPTAの各常置委員会活動に関わりの深い情報提供を行うことができた。	PTA運営講座(6回) ※うち1回は家庭教育学級運営講座として実施。	H22 A 90 82 H23 A 90 84 H24 A 90 83 H25 A 85 83 H26 A 84 83 計 439 415	PTAの主体性を維持するため、積極的な情報提供・適切な講座等の運営に努める。また、前年度のPTA役員経験者などを招き活動発表を交えながら、効果的な学習となるよう取り組んでいく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)					
2	子育て体験学習(1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	a		H22:市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23:市内中学校12校で実施 H24:市内中学校9校で実施 H25:市内中学校10校で実施 H26:市内中学校10校で実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	NPO法人川越子育てネットワークに業務委託をし、中学校20校で実施予定。	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課、青少年課)					
					中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 14校 14回 受け入れ生徒数 768名 保育園訪問事業 6校 6回 140名	a	・保育園での仕事を体験することや幼い子どもと交流する事で子どもとの関わり方を学び穏やかな感情を抱き、自信を持ち自己肯定感が高まる。 ・地域の学校と交流し入学への期待が高まる。	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校 H25 3校 H26 6校	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	社会体験学習及び交流活動をする事で、保育園での子どもたちの様子や保育園での職業体験を通し、豊かな心身の育成を図る。	保育課					
					こども育成課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	a	乳幼児健診などで事業の周知をすることで、事業実施のの協力を図った。	チラシの配付	H22 B 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	中心課が主体となって行う事業について、事業実施状況を見ながら協力していく。	健康づくり支援課					
					中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討した。	a	中心課が行っている事業に関するチラシの配布等を公民館内で行った。		H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	中心課の事業実施状況を見ながら、必要に応じて協力を検討していく。	中央公民館					
					こども育成課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。	a	子育て体験学習を通して、市内の中学生は命の大切さや子育ての大変さを学ぶことができた。		H22 B 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	こども育成課が主体となって行う事業について、学校との調整等を行う。	教育指導課					

3	川越市子ども会育成団体連絡協議会活動	継続		A	広報誌の発行を通して、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。また、市かるた大会を実施し、子ども会活動の活発化が図られ、青少年健全育成の一助がなされた。	a	広報誌の発行を通して、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。また、市かるた大会や棚倉町交流事業を実施し、子ども会活動の活発化が図られ、青少年健全育成の一助がなされた。	広報誌「ひろば」発行 H22 4回 H24 4回 H23 4回 H25 4回 川越市かるた大会 H22 1回 H24 1回 H23 1回 H25 1回 棚倉町・川越市交流事業 H22 訪問・受入 各1回 H23 訪問・受入 各1回 H24 訪問・受入 各1回 H25 訪問 1回 受入中止 H26 中止	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>333</td><td>333</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>333</td><td>333</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>333</td><td>333</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>333</td><td>333</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>333</td><td>333</td></tr> <tr><td>計</td><td>A</td><td>1,665</td><td>1,665</td></tr> </table>	H22	A	333	333	H23	A	333	333	H24	A	333	333	H25	A	333	333	H26	A	333	333	計	A	1,665	1,665	川越市内の子ども会育成団体の自主性を尊重しつつ、相互の連絡調整を積極的に図るとともに、子ども会育成会活動の向上と発展に資するため、既存事業の更なる充実を目指していく。	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
H22	A	333	333																																
H23	A	333	333																																
H24	A	333	333																																
H25	A	333	333																																
H26	A	333	333																																
計	A	1,665	1,665																																
4	地域人材活用事業	継続	各校8回	B	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できた。 実施予定数…275回(55校×5回) 実施数…401回 実施率…145.8%	b	当初予算上の活動上限回数である275回の約1.5倍の401回の活動が保障できたが、目標事業量には達していない。 また、今後、「日本語指導ボランティア」の派遣要請が増えていけば、当然、地域人材活用の回数は減少していくことになる。	実施率 17年度…92% 18年度…100% 19年度…99% 20年度…99% 21年度…130% 22年度…182% 23年度…231% 24年度…93.2% 25年度…100% 26年度…145.8%	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>990</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>825</td><td>1,905</td></tr> <tr><td>H24</td><td>B</td><td>660</td><td>615</td></tr> <tr><td>H25</td><td>B</td><td>660</td><td>660</td></tr> <tr><td>H26</td><td>B</td><td>825</td><td>1,203</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>3,960</td><td>6,183</td></tr> </table>	H22	A	990	1,800	H23	A	825	1,905	H24	B	660	615	H25	B	660	660	H26	B	825	1,203	計		3,960	6,183	道徳、学級活動、総合的な学習の時間、中学校部活動等において多様な学習機会を提供するため、地域の人材を積極的に活用し、特色ある学校づくりを推進していく。「特色ある学校づくり支援」の報償費の中で「日本語指導ボランティア」に対する報償金が増えている状況で、「地域人材活用事業」に予算を回すことは難しい。	学校管理課
H22	A	990	1,800																																
H23	A	825	1,905																																
H24	B	660	615																																
H25	B	660	660																																
H26	B	825	1,203																																
計		3,960	6,183																																
5	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充	実施率100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。	a	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議を実施した。中学生が地域の中で活動が多くの人々とのふれあいを通して、勤労観や社会性・自立心を養うと共に、生徒一人一人が自分の生き方を見付け、たくましく豊かに生きる力を育むことができた。	H22 ・参加生徒数2,825名 ・協力事業所のべ771事業所 H23 ・参加生徒数2,941名 ・協力事業所のべ828事業所 H24 ・参加生徒数2,777名 ・協力事業所のべ798事業所 H25 ・参加生徒数2,667名 ・協力事業所のべ795事業所 H26 ・参加生徒数2,737名 ・協力事業所のべ822事業所	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>再掲</td><td>再掲</td></tr> </table>	H22	A	再掲	再掲	H23	A	再掲	再掲	H24	A	再掲	再掲	H25	A	再掲	再掲	H26	A	再掲	再掲	計		再掲	再掲	今年度も事業所の協力のもと、生徒の主体的、意欲的な活動につなげていきたい。これからの自分の進路選択に向けた行方べき点に気づける取り組みにする。	教育指導課
H22	A	再掲	再掲																																
H23	A	再掲	再掲																																
H24	A	再掲	再掲																																
H25	A	再掲	再掲																																
H26	A	再掲	再掲																																
計		再掲	再掲																																
6	生きがい活動支援通所事業	継続	各クラス年1回ずつの交流会	A	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。利用者は小学生の劇や発表(歌・手品・体操など)を喜び、小学生も昔遊び・かるた・トランプを利用者と一緒に楽しんだ。交流の中で、高齢者の戦争等の体験談に小学生が耳を傾ける様子も見られた。	a	小学校の空き教室という立地を生かし、生徒との交流を有効に実施できたと考える。高齢者にとっては良い刺激となり、また小学生にとっても高齢者と接する良い機会となった。	H22・交流会 各クラス1回 ・卒業式後、利用者による卒業生の見送り H23・交流会 各クラス1回 ・利用者による卒業式後の卒業生見送りの例年実施しているが、雨のため急遽中止となった。 H24・交流会 各クラス1回 ・例年通り H25・交流会 各クラス1回 ・福祉体験 4年生2回 H26・交流会 各クラス1回・福祉体験 4年生2回	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>8,328</td><td>8,328</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>8,184</td><td>8,184</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>8,140</td><td>8,140</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>8,489</td><td>8,489</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>8,536</td><td>8,536</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>41,677</td><td>41,677</td></tr> </table>	H22	A	8,328	8,328	H23	A	8,184	8,184	H24	A	8,140	8,140	H25	A	8,489	8,489	H26	A	8,536	8,536	計		41,677	41,677	引き続き、利用者に小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者とふれあう機会が少なくなっている子どもたちにも交流の場を提供していく。	高齢者いきがい課
H22	A	8,328	8,328																																
H23	A	8,184	8,184																																
H24	A	8,140	8,140																																
H25	A	8,489	8,489																																
H26	A	8,536	8,536																																
計		41,677	41,677																																

7	体験学習(小学生対象)	継続	12講座	A	「生きる力」をはぐむ野外教育プログラムなどの事業を開催した。 15公民館、21講座 参加者延人数3,513人	a	講座数について目標を上回ることができた。 講座を開設したことによって、子どもたちで学校や学年を超えた交流が生まれ、屋外活動を通じて「生きる力」を養うことができた。	H22 13公民館、19講座 参加者延人数 3,475人 H23 15公民館、16講座 参加者延人数 3,541人 H24 12公民館、30講座 参加者延人数 3,144人 H25 15公民館、26講座 参加者延人数 3,470人 H26 15公民館、21講座 参加者延人数 3,513人	H22 A 1,075 842 H23 A 1,058 856 H24 A 1,254 1,189 H25 A 1,269 828 H26 A 809 826 計 5,465 4,541	「生きる力」をはぐむ野外教育プログラムなどの事業を開催する。	中央公民館
8	土曜子ども体験(2-(2)-14の再掲)	継続	年21回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鏡の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。21回実施。	a	体験者が体験を通じて歴史文化に対する理解を深め、感性を豊かにすることができたと考えられる。また、教室・講座の講師が規律と秩序を同時に教え、文化と教育の融合が図られた。	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回 H25 年21回 H26 年21回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	今後も、プログラムを見直し、よりニーズに合った内容を考えて実施していきたい。	博物館
9	子ども博物館教室(2-(2)-15の再掲)	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候にもめくまれ、3回すべて実施することができた。	a	体験者が体験を通じて歴史文化に対する理解を深め、感性を豊かにすることができたと考えられる。また、教室・講座の講師が規律と秩序を同時に教え、文化と教育の融合が図られた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回 H25 年3回 H26 年3回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	1日かけてじっくり取り組めるプログラムとし、今後も川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容で、毎年数種類更新して実施していく。	博物館
10	夏休み子ども体験(2-(2)-16の再掲)	継続	年4回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯笼作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろう、親子で木をつかって遊ぼうを行った。4回実施。	a	体験者が体験を通じて歴史文化に対する理解を深め、感性を豊かにすることができたと考えられる。また、教室・講座の講師が規律と秩序を同時に教え、文化と教育の融合が図られた。	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回 H25 年4回 H26 年4回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	今後も、夏季休業日を利用して博物館に来館し、興味を持って取り組める内容を実施していく。	博物館
11	昔の遊び(2-(2)-17の再掲)	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリー作り等の体験を行った。 2回実施	a	体験者が体験を通じて歴史文化に対する理解を深め、感性を豊かにすることができたと考えられる。また、教室・講座の講師が規律と秩序を同時に教え、文化と教育の融合が図られた。	H22 年2回 H23 年2回 H24 年2回 H25 年2回 H26 年2回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	今後も、昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として、市民ボランティアの協力を得て実施していく。	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	年間派遣件数 1件	A	ドイツ・オッフエンバッハ市に中学生交流団を派遣した。 期間 8月20日～8月27日 参加者 市内中学3年生22名、引率3名	a	毎年度、中学生を海外姉妹都市に派遣し、次世代を担う中学生の国際理解を深めることができた。	年間派遣件数 平成22年度 1件 平成23年度 1件 平成24年度 1件 平成25年度 1件 平成26年度 1件	H22 A 3,100 2,903 H23 A 3,000 2,794 H24 A 3,000 3,299 H25 A 3,000 2,940 H26 A 3,400 3,445 計 15,500 15,381	引き続き、海外姉妹都市へ市内中学校代表22名を派遣する。 平成27年度派遣先 アメリカ・セーレム市	国際文化交流課 (H24年度まで: 文化振興課) (計画策定時: 国際交流課)

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-（5）地域における子育て支援のネットワークづくり

（単位：千円）

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度末達成状況	平成26年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績（平成26年度の決算額は決算見込額）				平成27年度以降の方向性	所管課
							実績評価		既存統計データ			
1	地域子育て支援拠点事業（5-（1）-5の再掲）	拡充	25箇所	A	子育て支援拠点4箇所設置【計18箇所】 既存の子育て支援拠点の周知徹底のため、広報川越への掲載、子育て支援施設一覧のチラシのリニューアル等を行った。地域子育て支援センターを中心に連絡会議を開催し、施設間の情報共有を図った。また、平成27年度よりウエスタ川越内に川越市子育て支援センターを開設することに向け、法整備等を行った。	a	子育て支援拠点の設置は、市内18箇所を達成し、保護者の子育ての不安感を緩和すること、子どもの健やかな育ちを支援することに役立った。 ※「川越市子ども・子育て支援事業計画」策定時の見直しにおいて、平成31年度までに25箇所の設置を目標としたため、設置箇所数としては概ね達成している。	H22 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所） つどいの広場（公立1箇所、法人6箇所） 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所） つどいの広場（公立1箇所、法人9箇所） 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所） つどいの広場（公立1箇所、法人10箇所） 計14箇所を実施。 H25 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所） つどいの広場（公立1箇所、法人10箇所） 計14箇所を実施。 H26 子育て支援センター（公立1箇所、法人2箇所） つどいの広場（公立2箇所、法人13箇所） 計18箇所を実施。	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	川越市子育て支援センター（ウエスタ川越内）を当事業の統括的な役割に位置付け、平成28年度の利用者支援事業の開始に向けた本格的な整備を行っていく。 社会福祉法人等が運営主体の拠点に対しては、従前の補助金交付から業務委託へと変更し、平成27年度には2施設増設予定である。法人等へ業務委託をするにあたり、川越市としての当事業の実施内容の方向性をより具体的に示していくこと、及び利用率の上がらない拠点に対する適切な改善策を見つけていくこと等に努めていく。	こども育成課 （H24年度まで：保育課）	
2	保育所による地域子育て支援事業（5-（1）-6の再掲）	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。育児サークル支援。 保育所地域活動事業、子育て支援事業、育児相談等の実施。	a	事業の実施園は増加している。	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。 H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。 H25 公立20園 法人18園 計38園で実施。 H26 公立20園 法人19園 計39園で実施。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 A 再掲 再掲 H26 A 再掲 再掲 計 再掲 再掲	育児相談及び園庭開放の充実を図る。	保育課	

3	子育てサークルへ の出前講座	拡充		A	公民館、自治会館等で自主的に活動する子育てサークルからの育児相談、子育て講座等の依頼により、保育士が出向き支援する。 子育てサークル支援 41回 内容：手遊び、親子遊び、製作、ミニ勉強会等	a	子育てサークルに対し、講座等の支援をすることにより、各家庭の育児不安の解消や育児環境の向上を図ることができた。	H22 サークル支援52回 1,278人 H23 サークル支援55回 1,156人 H24 サークル支援33回 679人 H25 サークル支援59回 1,205人 H26 サークル支援41回 958人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	年々、子育てサークルが減少している中、講座等の支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児環境の向上を図っていく。 法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	こども育成課 (H24年度まで： 保育課)
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	a	事業を実施することで、正しい知識の普及が図れた。	講座開催回数 H22: 7回 406人 H23: 2回 48人 H24: 5回 201人 H25: 6回 244人 H26: 5回 170人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。	健康づくり 支援課
4	子育てサークルへ の施設提供	継続	随時	A	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共の利用に供した。 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：48,374件 年間利用者：785,209人	a	利用件数は減少傾向にあるものの、地域住民の学習、集会等において、活動や交流の場を提供している。	H22 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：47,014件 年間利用者：779,974人 H23 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：47,586件 年間利用者：887,594人 H24 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：48,010件 年間利用者：778,731人 H25 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：50,484件 年間利用者：781,661人 H26 開催公民館：17公民館、1分室、1分館 年間利用件数：48,374件 年間利用者：785,209人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共の利用に供する。	中央公民館

5	子育てサロン事業	継続	19サロン	A	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市の展開をすすめた。 開催公民館：17公民館 サロン開催数：21サロン サロン延開催数：308回 参加者延人数：12,698人	a	サロン開設数について、目標を上回ることができた。 サロンを開設したことによって、親同士の交流、子育ての孤立化を防止することができた。	開催公民館 H22 17館 H23 17館 H24 17館 H25 17館 H26 17館 サロン開催数 H22 20サロン H23 21サロン H24 21サロン H25 21サロン H26 21サロン サロン延開催数 H22 297回 H23 312回 H24 312回 H25 312回 H26 308回 参加者延人数 H22 13,327人 H23 13,600人 H24 12,408人 H25 12,758人 H26 12,698人	H22 A 2,447 2,331 H23 A 2,385 2,385 H24 A 2,445 2,357 H25 A 2,460 2,337 H26 A 2,439 2,324 計 12,176 11,734	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市の展開をすすめる。	中央公民館
6	子育てサポーター養成講座	継続	1講座	A	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催した。 5館、4講座、開催数17回 参加者延人数：168人	a	講座数について目標を上回ることができた。 講座を開催したことによって新たな子育てサロン等のスタッフを養成し、今後のサロン活動の充実につなげることができた。	H22 2館、2講座 開催数10回 参加者延人数：162人 H23 2館、2講座 開催数11回 参加者延人数：169人 H24 3館、3講座 開催数18回 参加者延人数：186人 H25 3館、3講座 開催数14回 参加者延人数：183人 H26 5館、4講座 開催数17回 参加者延人数：168人	H22 A 50 145 H23 A 77 153 H24 A 53 145 H25 A 136 134 H26 A 251 137 計 567 714	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催する。	中央公民館
7	子育てネットワーク事業	拡充		A	要保護児童対策地域協議会の実務者会議を子育て支援ネットワークとして位置付け、子育て支援に関して連携を図った。 実務者会議 6回	a	要保護児童対策地域協議会の実務者会議を子育て支援ネットワークとして位置付け、子育て支援に関して連携を図ったことにより円滑な連携が保てた。	H22 実務者会議 9回 H23 実務者会議 9回 H24 実務者会議 6回 H25 実務者会議 7回 H26 実務者会議 6回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	引き続き、前年度と同数程度の会議を開催し、子育て支援体制の連携を図る。	こども安全課 (H24年度まで：子育て支援課)
8	子育て支援プロジェクトチームの設置	新規	年間12回	A	子育て支援プロジェクトチームに代わるものとして、「川越市子ども・子育て支援新制度庁内検討会議」を設置し、子ども・子育て支援新制度に係る事業計画等についての検討を行った。	a	子育て支援プロジェクトチームに代わるものとして、「川越市子ども・子育て支援新制度庁内検討会議」を設置し、子ども・子育て支援新制度に係る事業計画等についての検討を行った。	H22: 開催数 1回 H23: 開催数 3回 H24: 開催数 1回 H25: 開催数 3回(新制度検討会議)	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	子育て支援に係る事業等を掲載する「子ども・子育て支援事業計画」の推進を図るため、関係課で協議していく。	こども政策課 こども育成課 こども安全課 保育課 健康づくり支援課 中央公民館 教育指導課

【網掛け】重点施策

【平成26年度未達成状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

【後期計画達成状況】a:順調 b:やや遅れている c:遅れている d:未実施 e:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(6) 子育て情報提供の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成26年度未達成状況	平成26年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	後期計画達成状況	後期計画事業実績(平成26年度の決算額は決算見込額)					平成27年度以降の方向性	所管課		
							実績評価		既存統計データ	年度	進捗状況			予算額	決算額
1	育児情報発信活動	拡充		A	子育てコーナーや、市のホームページ及びモバイルサイトを整備して、子育て情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。登録件数1,889件。配信数106件。各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行して、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布し、情報提供の推進を図った。	a	ホームページ、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、モバイルサイト、メール配信等、様々な周知方法を整備し、より多くの人に必要情報が行き届くよう工夫した。また、子育て情報誌(こえどちゃん)については、母親たちの視点を取り入れて閲覧しやすい内容とするとともに、発行部数も大幅に増刷し、子育て情報を幅広く周知することができた。	H22	メール配信登録件数 800件 メール配信数 37件 情報誌 3,000冊配布	H22	A	—	—	情報誌については増刷して、より多くの方にご覧いただけるようにするとともに電子ブック化してパソコン、スマートフォンからも閲覧しやすい環境を作る。 市のHP、官民協働事業による検索性の高い子育て応援サイト(ママフレ)、モバイルサイト、メール配信等を活用し、子育て支援サービスのメニューや手続方法の周知を図っていく。	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
					H23	メール配信登録件数 978件 メール配信数 114件 情報誌 5,100冊配布	H23	A	—	—					
					H24	メール配信登録件数1,031件 メール配信数 124件 情報誌 6,500冊配布	H24	A	—	—					
				A	毎月、子育て情報紙「子育てわくわく」を1,400部発行し、公民館等へ配布した。講座情報も広報への掲載、チラシ配布を行うことで、定期的な情報提供に努めた。 子育て情報紙、施設一覧のホームページ掲載に加え、携帯への配信サービス、モバイルサイト掲載も実施し、より幅広い情報提供を行った。	a	・子育て情報紙「子育てわくわく」で子育てのポイント、子育てサークルの活動状況、ミニ講座や講演会のお知らせ等の子育て情報を市民に広く提供した。市のホームページにも掲載。 ・子育て家庭の孤立化を防ぐために、子育て家庭の交流の場、育児相談、子育て講座等の情報を提供した。 ・「子育て支援施設一覧」は公立に加え法人立の広場の情報も一覧にして掲載している ホームページに掲載の「子育て支援施設一覧」には各施設の地図を貼り情報の充実を図った。	H22	川越子育て情報誌 2,800部作成。 子育て情報紙 年12回1,300部発行。	H22	A	300	300	子育て情報の提供は電子メディア、紙ベース等の媒体を使い、子育て支援施設をこれまで以上に広く周知していく。 育児相談についても相談活動周知するため、相談窓口案内のリーフレットを作成する。 子育て家庭の個別のニーズを把握して、適切な施設・事業等を円滑に利用できるよう、情報提供の体制を整備していく。	こども育成課 (H24年度まで: 保育課)
H23	子育て情報紙 年12回1,300部発行。	H23	A	—	—										
H24	子育て情報紙 年12回1,300部発行。	H24	A	—	—										
				A	広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行うとともに、子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、情報を発信した。	a	広報やホームページの活用により、各種事業の周知が図れ、事業の参加促進が図れた。	H25	子育て情報紙 年12回1,300部発行。	H25	A	—	—	引き続き、広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行っていく。	健康づくり支援課
H26	子育て情報紙 年12回1,400部発行。	H26	A	—	—										
				A	計	0	0								

2	育児サークル支援	拡充	A	サークル活動状況を調査し、子育て情報紙にサークル紹介を掲載した。また、サークル交流会を開催し、サークル間の交流を促した。子育て情報紙に掲載サークル交流会 1回	a	子育て情報紙で子育てサークルを紹介し、転入者や育児不安を持つ保護者に交流の場や子育て情報を提供することができた。また、サークル交流会を開催することでサークル間の活動内容等の情報交換の場の提供と、交流の促進を図る役割を担った。 サークル活動の場となっている施設の使用料の有料化が活動の縮小につながらないよう、負担なく使える場所として法人つどいの広場などが利用できるよう支援をした。	H22 サークル交流会 1回 12サークル H23 サークル交流会 1回 8サークル H24 サークル交流会 1回 10サークル H25 サークル交流会 1回 7サークル H26 サークル交流会 1回 7サークル	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	年々、育児サークルが減少している中、出張支援を行うことで、各家庭の育児不安の解消や育児環境の向上を図る。 法人子育て支援施設や保育園等関係機関と連携して、サークルの活動場所の提供など、新たな子育てサークルへの支援を検討していく。	こども育成課 (H24年度まで：保育課)
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	a	出前講座を実施することで、対象にあった健康面や育児に関する知識の普及が図れた。	講座開催回数 H22: 7回 406人 H23: 2回 48人 H24: 5回 201人 H25: 6回 244人 H26: 5回 170人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 A — — H26 A — — 計 0 0	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施する。

3	市民との協働による子育て情報誌	新規	年間発行部数 6,000部	A	市民活動団体との協働事業として子育て中の方の意見等を取り入れて内容作成し、有料広告を掲載して充実した情報誌を効率よく作成した。また、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に情報誌を配布するとともに、電子ブック化して閲覧しやすい環境整備に努めた。	a	協働事業として実施することで、母親・父親の視点を取り入れた情報誌を作成することができた。また、電子ブック化により閲覧しやすい環境を作るほか、広告収入を印刷製本費に充当することで、大幅に発行部数を増やすことが可能となり、広く子育て情報を発信できた。	情報誌「こえどちゃん」 H22 H22配布 3,000冊 H23 H23配布用作成 3,000冊 H23 H23配布用追加作成 2,100冊 H23 H23配布 5,100冊 H24 H24配布用作成 6,500冊 H24 H24配布 6,500冊 H25 H25配布用作成 7,000冊 H25 H25配布 7,000冊 H26 H26配布用作成 8,000冊 H26 H26配布 8,000冊 H27 H27配布用作成 19,500冊	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>226</td><td>95</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>404</td><td>403</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>625</td><td>625</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>1,137</td><td>958</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>77</td><td>77</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>2,469</td><td>2,158</td></tr> </table>	H22	A	226	95	H23	A	404	403	H24	A	625	625	H25	A	1,137	958	H26	A	77	77	計		2,469	2,158	市民活動団体との協働で子育て中の方の意見等を取り入れるとともに、官民協働事業として、広告収入を印刷製本費に充当し、より検索性・利便性の高い情報誌を作成する。また、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか幼稚園、保育所等を通じて未就学児のいる世帯に情報誌を配布するとともに、電子ブック化して閲覧しやすい環境整備に努める。	こども政策課 (H24年度まで：子育て支援課)
				H22	A	226	95																												
				H23	A	404	403																												
H24	A	625	625																																
H25	A	1,137	958																																
H26	A	77	77																																
計		2,469	2,158																																
A	子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、事業の情報提供を図った。また、乳幼児健診や訪問の際に情報誌を活用し情報提供を行った。平成23年度より「こえどちゃん」を母子健康手帳と併せて配布するようになったため、新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問時での配付を終了とした。	a	子育て情報誌に母子保健情報のページを設けてもらうことで、事業の周知を図ることが出来た。また、乳幼児健診や訪問の際に情報誌を活用し情報提供を行った。平成23年度より「こえどちゃん」を母子健康手帳と併せて配布するようになったため、新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問時での配付を終了とした。	母子保健情報の掲載	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>95</td><td>95</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>95</td><td>—</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H25</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>A</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>190</td><td>95</td></tr> </table>	H22	A	95	95	H23	A	95	—	H24	A	—	—	H25	A	—	—	H26	A	—	—	計		190	95	乳幼児健診や訪問の際に情報誌の活用し情報提供を行う。	健康づくり支援課				
H22	A	95	95																																
H23	A	95	—																																
H24	A	—	—																																
H25	A	—	—																																
H26	A	—	—																																
計		190	95																																
E	こども政策課の所管となったため、事業の実施なし。	a	子育て情報誌の編集、発行を通じて、子育て中の親の社会参画を推進することができた。	H22 1公民館、1講座 参加者延人数 256人 年間発行部数 6,000部 H23 1公民館、1講座 参加者延人数 280人 年間発行部数 5,100部 H24 1公民館、1講座 参加者延人数 113人 年間発行部数 6,500部	<table border="1"> <tr><td>H22</td><td>A</td><td>125</td><td>139</td></tr> <tr><td>H23</td><td>A</td><td>125</td><td>203</td></tr> <tr><td>H24</td><td>A</td><td>117</td><td>98</td></tr> <tr><td>H25</td><td>E</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>H26</td><td>E</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>367</td><td>440</td></tr> </table>	H22	A	125	139	H23	A	125	203	H24	A	117	98	H25	E	—	—	H26	E	—	—	計		367	440	こども政策課の所管となったため、事業の実施なし。	中央公民館				
H22	A	125	139																																
H23	A	125	203																																
H24	A	117	98																																
H25	E	—	—																																
H26	E	—	—																																
計		367	440																																